



# ～心豊かな子どもの成長を願うPTA～ 柏市P連だより



■発行：柏市PTA連絡協議会 ■編集：市P連広報委員会 ■生徒数：30,608名 ■会員数：26,830戸

柏市P連事務局

〒277-0005 柏市柏五丁目8番12号 柏市中央公民館内 3F 団体事務局  
電話04(7128)6753 FAX 04(7128)6754  
【E-mail】kashiwa.pren@gmail.com 【HP】https://www.kashiwa-pta.com



元気な柏っ子・笑顔と共に育む地域の輪

## みんなの 子育て広場

### 『LGBTQについて知ろう』～誰もが自分らしく生きるために～

令和5年1月27日「PTAと学校の連携による子育て支援の推進」と題して、教育委員会生涯学習課と共催で家庭教育支援事業研修会を開催しました。会場およびオンラインに約100名の参加者が集う中、柏市PTA連絡協議会会長鴫田和之の挨拶から始まり、柏市教育委員会生涯学習課「みんなの子育て広場」の今年度の各校活動報告の後、高田小学校校長中光理恵先生による「『LGBTQについて知ろう』～誰もが自分らしく生きるために～」のご講話を頂きました。その後会場では、いくつかのグループに分かれてグループワーク「LGBTQについてのすごろくトーク」を行いました。和やかな雰囲気のもと本音を交えた意見交換を通じ、本課題がより身近に意識しなければいけないものであるということ強く感じる事ができました。

#### アンコンシャス・バイアス <無意識の偏見>

- 【ジェンダー平等】推進の阻害要因とも言われている
  - ・誰もが潜在的に持っている「バイアス…偏見」の事。
  - ・育つ環境や所属する集団の中で、**知らず知らずに脳に刻み込まれた既成概念・固定概念の事。**
  - ・バイアスの対象は男女・人種・貧富などさまざま。しかし、**自覚できないために自制することも難しい。**
  - ・無意識のバイアスはいろいろな判断をする過程に於いて、便利なショートカットの役割を果たす。特に採用や**昇進人事の場では、無意識のうちに「バイアス」が働き得ることが示されている。**
  - ・それでも私達は「**無意識のバイアス**」がいつ、どのように現れるかを知ること**でその影響を最小限に抑えることが可能になる。**

〇〇ならば△△だろう  
〇〇ならば△△であるべき

▲「無意識のバイアス—Unconscious Bias—を知っていますか?」男女共同参画学協会連絡会(2019)より抜粋



## 性の多様性に関する基礎知識と学校現場での柏市の取り組み



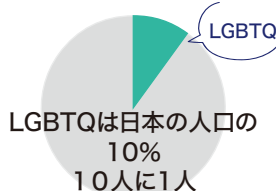
<b>Lesbian</b>	…レズビアン/女性同性愛者
<b>Gay</b>	…ゲイ/男性同性愛者
<b>Bisexual</b>	…バイセクシャル/両性愛者
<b>Transgender</b>	…トランスジェンダー/性同一性障害
<b>Questioning Queer</b>	…クエスチョニング・クィア/ 心の性が男女どちらでもないどちらでもある(他にも様々なセクシュアリティ)

**性的指向**  
(好きになる性)  
Sexual Orientation

**性自認**  
(心の性)  
Gender Identity

■病気ではなく生まれ持ったの性質であり、趣味で選択しているものではない。  
いろいろな形があることを認識することが大切。知らないがゆえに無意識のうちに差別していることもある。

柏市では、柏市いじめ防止基本方針に基づき  
性同一障害や性的指向・性自認に係る児童生徒への理解と対応が決められています。  
**全教職員対象のLGBTQ研修の実施・環境の構築と整備・ジェンダーレス制服の導入など**  
活動が直接目に来るものでは「ジェンダーレス制服」。小学生の通学帽子をメトロ型に統一するものや、一部の中学校ではスラックス型とスカート型をそれぞれネクタイとリボンの2通り・4種の選択を可能としています。



グループワーク  
すごろくトーク  
感想



徳田 亜希子 (旭小)

「LGBTQ」と聞いて難しく捉えていましたが、このすごろくトークを通して身近にあるのだと思いました。当たり前になってしまう「普通」という言葉の危うさを知り、自分の言動を振り返って、恥ずかしくない姿勢をとれていたか、すごろくの題材を通して考える機会が持てました。子供の未来を考えると、「みんな違ってみんないい」を当たり前と思える、固定概念のない心を持つことが大切だと感じたので、まずは私の意識を変え、家庭の中で少しずつ親子で一緒に話せる様に、会話を重ねていきたいと思えます。

小池 友岳 (柏第五小)

いままでLGBTQの話題をテーブルを囲って皆さんとお話しする機会が無かったため「すごろくトーク」はとても貴重な経験となりました。サイコロを振ってコマをすすめる本テーマ以外の身近な話題でお話するマスに。ここでは皆さんの面白いお話しをご披露頂き笑いもこぼれます。そんなリラックスした雰囲気の中、本テーマを考えるマスでも畏れまらずお互いの思いを話すことが出来ました。特に子どもが想定していなかったランドセルの色を選んだ時の親の対応を考えるマスでは、共通的な話題で皆さんそれぞれのお考えが分かるとともに、いかに自分が固定観念に囚われていて子どもの多様性を受け入れられない頭になっていたかに気付かされました。



落合 弘光 (高柳西小)

「すごろく」でグループワーク？ どんなワークになるのでしょうか？期待と不安が入り混じったこのすごろくトークもいざ取り組んでみると、あらあらコマは進まないが話しは弾んで会話が進み過ぎ！各自1巡しかしていないのにひとりの話から6人グループ全体での盛り上がりを見せ、気付けば制限時間を過ぎた周囲は片付けも終わり……。そんな時間を忘れてしまう程のワークは初めてで、しめしめ、これは保護者懇談会でも使えるぞと思い、数種あるワークシートの学校送付依頼にまでに発展。ゴールを目指さない(!?)このすごろく、グループでのコミュニケーションを深める事を目的としている様で、実際にそれは成功していると思います。サイコロを振った人の話を聞き(遮らず最後まで聞く事が大事)、そこから相手と自身が同じであることや違うことを認識しつつ、発表意識を持つと言う過程が素晴らしいと強く感じられました。

研修会を振り返って 岡野 敏郎

中光先生からは、自分らしく生きる社会にするため、LGBTQについて正しく知り偏見をなくす取り組みが大切であること、「ふつう」や「しあわせ」の形は人によって違うことなど貴重なお話がありました。「ちがいはあって当たり前、恐れるものではない、恥ずかしいものではない」という言葉が印象的でした。また、今年度の「みんなの子育て広場」活動報告では、「防災クロスロード」「体験型防犯教室」「すごろくトーク」を取り上げました。「すごろくトーク」については、会場に来られた皆さんにやっていただきました。交流を図るひとつの方法として活用して頂ければと思います。来年度の活動がますます活発になることを願っています。



令和5年度 主な行事予定

- 柏市PTA連絡協議会 定期総会 5月18日(木) アミュゼ柏・クリスタルホール
- 柏市PTA連絡協議会 バレーボール大会
  - 予選 7月28日・29日(金・土) 柏市中央体育館
  - 決勝 8月10日(木) 東葛大会(松戸市主催)
  - 県大会 11月15日(水) 成田市・中台運動公園体育館
- 日本PTA全国研究大会(広島大会) 8月25日・26日(金・土)
- 柏市PTA研究協議会 10月18日(水) アミュゼ柏・クリスタルホール
- 日本PTA関東ブロック研究大会(ちば大会) 10月28日・29日(土・日)
- ミュージックフェスタ2023 令和6年1月 予定
- 柏市小・中PTA会長・副会長研修会(年2回) 7月・令和6年2月予定
- 「みんなの子育て広場」研修会 令和6年2月上旬 沼南庁舎 予定

※予定は変更になる場合がございます。